

岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会
岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会（平成28年度第2回）

日 時：平成29年1月17日（火）13:30～16:30
場 所：倉敷工業高等学校 司書室
参加人数：8名（岡本、加茂、久戸瀬、近藤、坂口、
田中、森、吉岡） 欠席（成本）
司 会：久戸瀬 記 録：吉岡

1 開会

2 協議

(1) 司書部会メーリングリスト（ML）の管理について（岡本）

今後のMLの管理について、管理者を交替し、各支部にML担当者を新設することとする。
管理者（久戸瀬）、備前担当（田中）、備中担当（久戸瀬）、美作担当（森）とする。学校図書館以外のMLメンバーの管理は、管理者が行う。

(2) 司書部会HPについて（坂口）

充実に向けて更新していく。第2回ネット研アンケートであがった動画のアップについては、来年度の検討事項とする。

(3) で一れーBOOKS2017について（田中）

- ・ 2/15に2次投票の締め切り、3/15の発表に向けてポスター作成、コーナー展示していただく書店や図書館等には事前に連絡し、発表と同時に展示していただけるようにする。
- ・ 集計の点数について、現在は1位から、6点、4点、3点となっているが、見直しは必要ないか？
→開始時に配点について検討しているので、今年度はこのまま。来年度以降は再検討。
- ・ で一れーBOOKSについてのアンケートは、年度末に行う。

(4) 高等学校図書館間サポート事業について（森）

- ・ 来年度の人事について、確認する。（3月頭→ML、各司書部会、異動決定後）3月末に新しい組み合わせを作成し、4月すぐにチラシを配布する。
- ・ サポート校についてのアンケートは、年度末に行う。

(5) 県立図書館からの連絡／学校図書館間横断検索・相互貸借について（近藤）

- ・ 12/6の懇談会に向けてとったアンケートは、公開はしないこととする。県立図書館内では、館長、関係のある課で共有している。
- ・ 学校支援システムのマニュアルについては、現在新しいものを作成中。今後HPにアップし、ダウンロードして利用できるように進めている。
- ・ 次回システム更新は2020年。システム構築からの大幅更新になりそうである。
- ・ 搬送便の説明会は、初任研の一部を使って行う。

(6) 県立図書館との連携のあり方について（久戸瀬）

- ・ 本来、ネット研が窓口となって連携の調整をするべきところであったが、十分でなかった。今後は随時各支部各校からも意見を吸い上げ、ネット研会議で共有、改善していく。そのために、県立図書館からの情報提供も求めていく。
- ・ 年に1度は合同司書部会を県立図書館を会場にして行い、顔合わせなどをできるようにするべきでは。
→H29年度の4月合同研修は県立図書館で行い、県立図書館の見学も可能とする。

(7) 合同司書部会について（久戸瀬）

- ・ 平成28年度（第2回）
ガイドライン作成については、継続課題。
- ・ 平成29年度（第1回）
日にち：4月下旬（施設の都合、講師の都合による）
場所：県立図書館（多目的ホール・サークル活動室を終日借りる）
内容：午前→支部研修
午後→（全体）高見京子先生の講演
近年の状況や他県学校図書館の取り組みについての講演を希望
（研修A）初任研
講師担当は本来は美作であるが、転勤の可能性等を考慮し、
順番を入れ替え備前が担当する。（H30年度は美作が担当）
（研修B）司書部会の課題について
ネット研および司書部会の運営の見直し（以下※箇所参照）と
第2回ネット研アンケートより項目を整理

(8) 次年度の活動に関する提案（久戸瀬）

- ・ 高校ビブリオバトル岡山県大会の実施について
高教研学校図書館部会の事業とできるように進める。（1/25の研究協議会で今年度の実施報告。来年度役員会・総会で提案・決定とするはこび）開催人員については、教員も含め委嘱し、足りなければネット研メンバーも手伝う。

必要な予算は会場費のみ。今年度は他の主催団体から出たが、来年度以降、学校図書館部会で予算立てはできないか？会場費、チラシ代があればありがたい。会場費がとれなければ、学校を会場とする考え。

・司書部会運営およびネット研規約の見直しについて

ネットワーク研究委員会の担当する業務が、規約を越えて多様化していることもあり、研修実施体制や中長期的な課題への対応のあり方、司書部会の組織、役員、意思決定プロセスについても再検討した上で、適切な組織を設ける必要があると考える。ネット研の活動、規約の見直し及び改正を含めH29年度に検討していく。

このことを司書部会全体に周知し、委員加入希望者を募る。

また、アクティブ・ラーニングへの対応組織等についてもあわせて検討の必要性あり。

・アクティブ・ラーニングへの対応について

新規委員会の立ち上げは教員の委員の確保などすぐには難しそうである。司書部会で検討、情報交換の必要性は大である。また、今後高校教育課との連携も検討する必要がある。

(9) その他

・学校基本情報アンケートについて

項目の変更箇所があれば変更し、第5回司書部会で各支部案内ができるようにする。

・県のネットワーク分離への対応について

情報交換が必要である。

・高教研学校図書館部会研究協議会（1/25）での報告

例年、ネット研の活動報告を行っている。資料は年報にも掲載。

→でーれーBOOKSのノミネート作品など、一部を活動報告に追加。

・図書委員会交流会について、記録があった方がよいと思われるので、司書部会の事業ではないが、司書部会HP内に掲載する。

3 その他

4 閉会